

科目名	南北問題	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	瀬戸 裕之		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-350011	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	南北問題とは、先進国と開発途上国との間にある政治的・経済的格差に着目し、先進国にとって有利な国際秩序の変革を求める批判的な主張のことで。本講義では、アジア・アフリカなどの植民地が抱えてきた問題、国際秩序の改革のために開発途上国が行ってきた試み、現在の開発途上国が抱える課題について学ぶことによって、開発途上国の視点からみた国際秩序とグローバルな課題に対する批判的な問題意識を身につけます。				
学修到達目標	これまでに、開発途上国をめぐる国際秩序が抱えてきた課題について、先進国からの視点だけでなく、開発途上国からの視点も含めて学習することによって、複眼的に国際社会をみる考え方を身につけることができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	導入
第2回	南北問題とは何か
第3回	格差のはじまり-植民地の形成-

第4回	植民地の領域拡大-アジア・アフリカへ-
第5回	帝国主義下の社会変容-経済・人・意識-
第6回	独立への苦悩-2つの世界大戦-
第7回	第三世界の登場-新興独立国の主張-
第8回	援助か？貿易か？-発展への解決策を探る-
第9回	世界経済の新たな主役？-多国籍企業の影響力-
第10回	資源ナショナリズム-石油をめぐる政治-
第11回	国家が破産する？-累積債務問題-
第12回	債務問題への対応-新自由主義と国際金融機関-
第13回	開発途上国の優等生？-東アジアの奇跡-

第14回	アフリカの紛争と経済-「豊かな資源」との関係-
第15回	途上国？経済大国？-中国の影響力-
第16回	期末レポート

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。テレビ・新聞・インターネットを通じて関連事項について予習する。
【復習】時間・内容	2時間。配布資料の見直しと不明点を調べ理解する。

成績評価	
評価基準・方法	各回への出席とコメントカードの提出（50%）、期末レポート（50%）の評価。
フィードバック方法	各回に学生が提出したコメントカードを紹介し、学生から出された質問やコメントに対して説明する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	指定しない。参考すべき図書は、授業中に紹介する。
受講上の留意点等	1年次後期、2年次後期に受講することをお勧めします。受講者は、筆記用具を持参してください。
JABEE	